

未来への私たちの責任 ～越谷から切り開こう～



「がんばろう、日本！」
国民協議会 推薦

越谷市議会議員

白川ひでつぐ

白川 秀嗣(しらかわ ひでつぐ)

- 昭和28年 佐賀県に生まれる
- 昭和50年 福岡大学経済学部卒業。福岡県議事務所勤務
- 昭和58年 福岡市議会議員に29歳で立候補したが惜敗
- 昭和62年 福岡市議会議員(最年少当選)を一期勤める
- 平成05年 衆議院秘書として、日本新党細川政権を支え
国会事務所で活動
- 平成07年 埼玉県に転居、保険代理店勤務
- 平成11年 越谷市議選挙に立候補、2,060票の支持を得たものの、5票差で次点となり落選
- 平成13年 岩槻タクシー乗務員。変則的勤務時間を活用しながら「がんばろう、日本！」国民協議会の一員として、主権者運動を始める。日本再生のエネルギーは、バッチをつけない主権者一人一人の小さき無償の戦いから生まれることを確信。
- 平成15年 越谷市会議員当選 1期目 2709票(13位)
- 平成19年 越谷市会議員当選 2期目・副議長 3253票(7位)
- 平成23年 越谷市会議員当選 3期目 3478票(3位)

- 「がんばろう、日本！」国民協議会同人
- 市議会会派 保守新政の会副代表
- ローカルmanifesto推進地方議員連盟運営委員
- 越谷総合技術高校PTAOB樟の木会会員
- 越谷市社会福祉協議会評議員
- 中小企業家同友会会員
- 埼玉政経セミナー運営委員

妻、2男、1女

白川ひでつぐ議員と共に
住民自治をすすめましょう

チーム白川
チームリーダー **伊藤 幹夫**
(桜井地区連合自治会監査)



白川ひでつぐ

- 〒343-0045 埼玉県越谷市下間久里477-12
- TEL/FAX:048-979-3027 携帯:090-1121-9324
- ホームページ:http://shirakawa.laccess.net
- ツイッター:hishirakawa
- メールアドレス:shirakawa110@gmail.com

討議資料

駅立ち(朝6時～8時半)を、
毎日続けて**12年目**。
せんげん台東・西、大袋東・西、北越谷東・西、
越谷東・西、新越谷東・西、蒲生東で順次実施
2300日を超える。

タウンミーティングを開催し、**12年目**。
毎回テーマを設定し議会報告と参加者による
質問や意見に答える。※他の議員との共同開催も実現
通算127回。

10回の**14時間マラソン演説会**を開催
毎年5月、せんげん台東口で朝6時～夜8時まで
連続演説に取り組む。
※活動は全て2015.3.1現在

3 期目の活動

19回の**埼玉政経セミナー特別講座**
超党派の議員と市民による運営で、政治、経済、
社会の課題について2か月に一度セミナーを開催し、
統一地方選へ**市民と議員の統一マニフェスト**を策定

※7年間もの市民と議員の一体的活動が評価され、マニフェスト大賞優秀賞受賞!

19回の**桜井地区市政報告会**
「桜井地区議員の会」(超党派4名の議員)が
主催する地区市政報告会を議会毎に開催。
※3月議会の予算案説明や要望を受ける事前検討会も開催

30回の**グラウンド・ゴルフ大会**
「がんばろう越谷」主催による参加選手約200
人規模で3か月に1回の大会をグラウンド・ゴルフ
各チームリーダーによる自主運営で続けている。

おひさま発電・こしがやプロジェクト成功!
越谷初の市民共同発電を成功させ、2014
年1月に大袋幼稚園に太陽光パネルを設置。市民
と一緒に循環型のエネルギーと環境教育を推進。
おひさま発電所第2号機を西方小学校に
設置し、防災拠点化に向けて現在進行中。



みんなの越谷マニフェスト2015



この政策は市民と超党派議員有志で構成する「埼玉政経セミナー」での策定作業を通して、統一政策として発表したものです。

新しい豊かさ 成長社会から成熟社会へ

高齢化の速度が最も早い越谷で、人と人が支えあい、暮らしていく豊かさを実感できる地域へ

1. 地域で支える医療・介護・子育て

- ①地域包括ケアシステム構築、介護者支援、地域医療連携強化、コンビニ受診減少を行います。
- ②市立病院と国民健康保険の可視化と財政健全化を進め予防医療を推進します。
- ③子育てに、おばあさん・おじいさん・支援NPOなど、地域の多様な支えてが参加するしゅみを推進します。

2. 地域を元気にする産業

- ①地域ブランド作りによる雇用創出、歴史・文化・自然・商業資源を結ぶ観光戦略を提案します。
- ②コミュニティビジネスや新しい産業創出を通じてワークライフバランスを推進します。

3. 地域で循環する人・物・金・交通・エネルギー

- ①地域再生可能エネルギーや省エネ化で、エネルギー供給への市民参加を推進します。
- ②コミュニティバスなどの循環型交通網を広げます。

新しい公共 税金は市民のお金、市民が決める、市民が使う

行政お任せから、市民が決め責任をもつ地域コミュニティへ

1. 行政事業を見える化し、声なき声を反映させ、税金の使い方を市民参加で決定します。

外部評価制度で市民アンケートを実施し、検証過程や評価委員に市民を参加させます。

2. 13地区が自立し、責任をもって、未来に投資が出来るしゅみを追加します。

「地区まちづくり助成金」で、コンテスト型事業決定・自由予算・資金プール機能を導入します。

3. 市民活動でより有効なお金の使い方を実践し、市民が事業を選択できるようにします。

「しらこぼと基金・助成金」の事業決定を市民が行い、使用制限・自己負担・上限を緩和します。

新しいしゅみ 改革のカギ。しゅみと意識を変える

議論の見える化で市民参加を促進し、開かれた市政へ

1. 市民に開かれた議会への取組みを行います。

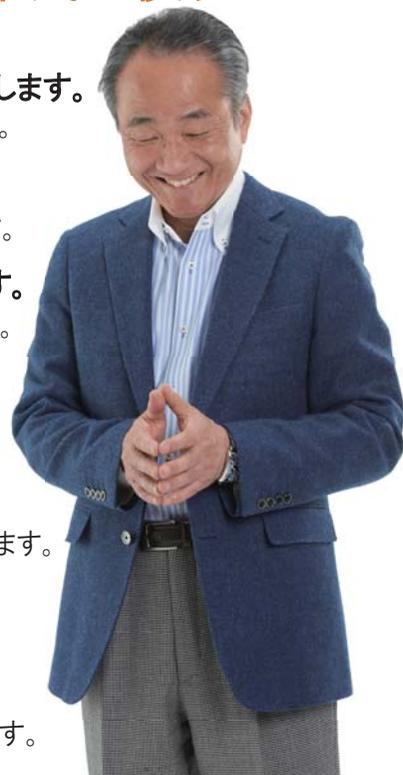
委員会のライブ中継、議長選挙公約の公開と検証、議会主催の市政報告会の開催に取組みます。

2. 市民の声を議会に反映させるため、市民参加の取組みを促進します。

議会発信の市民アンケート・市議会モニター制度・常設型住民投票制度を検討します。

3. 次世代に向けた政策への提言と取組みを行います。

若い世代の投票率向上や人口減少時代を視野に入れた、適正な議員定数を検討します。



2011年市議会議員選挙「私の通信簿」

「統一ローカルマニフェスト2011」の達成状況と評価

(埼玉政経セミナーで2011年の統一地方選挙に向けて作成)

私を含む、超党派8名の議員(越谷市議6名、埼玉県議2名)と市民が約束した統一政策の実績と評価です。

新しいしゅみ

1. 徹底した情報公開と市民参加による議会改革を進めます。

賛否の分かれる議案での討論が行われていない党派もある。委員会ライブ中継は決定はされたが6年後の実施では遅すぎる。議長選挙は公約の提出はされたが、点検検証に至っていない。市議会主催市政報告会は試行実施だけで、その後の進展なし。市民参加の促進は意見聴取だけで、熟議や決定機関への参加には至っていない。

達成度 40点

2. 常設型住民投票制度条例を提案します。

まずは常設型住民投票制度への理解を深めていく事が必要。二元代表制の地方議会の機能と制約(権利と義務)を確立していくためにも、市長や議員を縛る制度が必要。その意味で市民の権利である住民投票に議会の議決は必要がない。一般質問で取り上げた。

達成度 20点

新しい公共

1. 事業仕分けを実施し、事業実施の優先順位を明確にします。

議会としては試行実施以降は手付かずの状態だが、市長提案による削減事業が生まれるなど、一定の財政に対しての危機感と優先順位が生まれたものだとして評価する。事業仕分けは出来なかったが、目的に沿った方向に向かいつつある。

達成度 30点

2. 地区で予算の使い道を決る交付金制度を創設します。

市民自身で選択をする自治基盤や意識の強化ができれば達成は目前。コンテスト形式でのイベント提案や、他地域との競い合いや点検検証を促す事と、地域課題とセットでの考え方が必要。議会は、政策実現のため、行政とのコミュニケーション強化が必要。市民も地域の未来を選択できる知識や責任感を身に付ける必要がある。

達成度 60点

新しい豊かさ

1. 市立病院財政健全化や救急医療体制の充実を、市民と共に進めます。

一般会計からの繰入金を含めてではあるが、黒字化が出来た。しかし、国民健康保険も一般会計から19億円の繰入金があり、一体的に判断する必要がある。地域支援病院取得には紹介率や逆紹介率がまだ低い。地域包括ケアシステムの普及速度が高齢化に追いついていない。

達成度 60点

2. 稼げるプロジェクトで、生産・加工・流通の一体的戦略を提案します。

いちご観光農園の実績を活かした、越谷いちごタウンを新たに整備し、生産者への貸し出しを開始。観光と農家の収益アップを目指した事業を評価。現在は生産量が少なく越谷産いちごを市場に流通させるには至っていないが、多様な販売方法を検討。

達成度 80点

3. 人・物・通貨・ゴミ・エネルギー・交通が一巡する循環型地域を目指します。

ゴミ減量と再資源化は再生家具の販売や啓発用雑紙回収袋の配布までで、完全な循環型にはまだまだ遠い。自然エネルギーの活用で越谷初の市民共同発電が実施され、市民の寄付によって稼働中。小中学校への太陽光発電設置も進み、コミュニティバスの試験運行も開始された。

達成度 80点